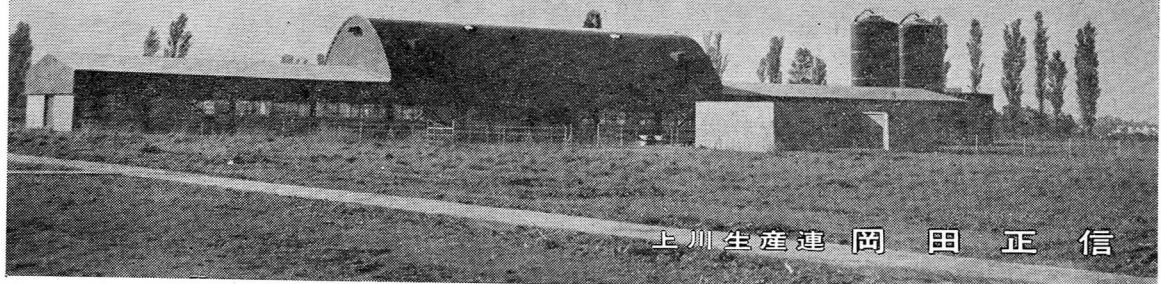


# ハーベストアーに関する報告



上川生産連岡田正信

筆者は昭和四十一年十一月より一ヵ年間北海道日米農村協力会より研修生として派米させていただき、殊にイリノイ州では、A、Oスマス社シカゴ技術研究所とタンピコーハーベストアー販売会社で、またワイスクンシン州ミルウォーキー市ではA、Oスマス社でオーキー市ではA、Oスマス社でそれぞれハーベストアーの研修をして参りましたのでこの状況をまとめてご報告し、次に私共の白金牧場で現在実施している経営概況を逐次記載して皆様の参考に供したいと存じます。

それぞれハーベストアーの研修をして参りましたのでこの状況をまとめてご報告し、次に私共の白金牧場で現在実施している経営概況を逐次記載して皆様の参考に供したいと存じます。

## I アメリカのハーベストアー

1 現在アメリカでは一五、〇〇基、特に五大湖の多雪地帯に使用されている。

2 完全密閉である為無酸素状態、栄養価が良く消化の良い飼料が生産される。

3 ハーレージは乾草とサイレージ両方の特性を備えており養分の損失が少なくてすむ。

## 8 完全密閉中のサイレージ

飼料が酸性状態になると好気性細菌の成長が抑えられる。空気の流通の悪い時はサイレージの温度は徐々に下がり外気温にほぼ等しくなる。

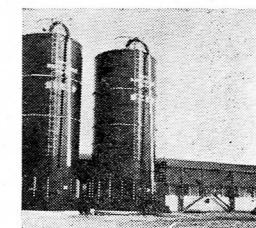
ハーベストアーの中で植物細胞及び空気との接触面に於て糖分は酸素と炭酸ガスに変える好気性酵素が多少おこなわれる。然し温度の上昇はさしてなく酸化は非常に限られた程度にしかおこらず完全密閉中では

## 7 サイレージ貯蔵の過程

良質サイレージを作る為の要因は最適の細菌、酵素の働き及び植物細胞の呼吸がある。炭水化合物は、醸酵中に植物と細菌中の酵素の働きによってアルコール、炭酸ガス、水、醋酸及び他の酸、アンモニアに分解される。植物細胞の働きが弱まるにつれて、飼料の嫌気性細菌の数は増し乳酸が増加する。

北大農学部でも昨年ハーベストアーテと最新式の牛舎が完成した。今後有益なデータが得られることであろう。

(北海道協和機械 提供)



北大のハーベストアーテ

北大農学部でも昨年ハーベストアーテと最新式の牛舎が完成した。今後有益なデータが得られることであろう。

5 飼料管理に融通性が出来る。  
6 設備投資に莫大なお金が必要であるが、ハーベストアーテは自動給餌装置が併用されて一連の給与体系(機械)である。この高価なハーベストアーテは貯蔵養分の減少などなければならない。普通一〇〇頭分給与に一〇~一五分。

7 債却年限による年間経費

年限	一〇年	一五年	二〇年
ハーベストアーテ	二三五ドル	一七〇ドル	一四〇ドル
コンクリート	一〇四ドル	八〇ドル	七四ドル
両者の差	一一一	九二	七二

## □飼料作物品種の使い分け

解説シリーズ 4

## ○ライグラス

### ■ハーベストアーテに関する報告

一 岡田 正信

### ■オーチャードグラス新優良品種

二 藤原 寛治

### 「キタミドリ」について

三 後藤 寛治

四 西野 武藏

五 藤原 昇

六 藤原 勉

七 藤原 勉

八 藤原 勉

九 藤原 勉

十 藤原 勉

十一 藤原 勉

十二 藤原 勉

十三 藤原 勉

十四 藤原 勉

十五 藤原 勉

十六 藤原 勉

十七 藤原 勉

十八 藤原 勉

十九 藤原 勉

二十 藤原 勉

二十一 藤原 勉

二十二 藤原 勉

二十三 藤原 勉

二十四 藤原 勉

二十五 藤原 勉

二十六 藤原 勉

二十七 藤原 勉

## 牧草と園芸 三月号 目次



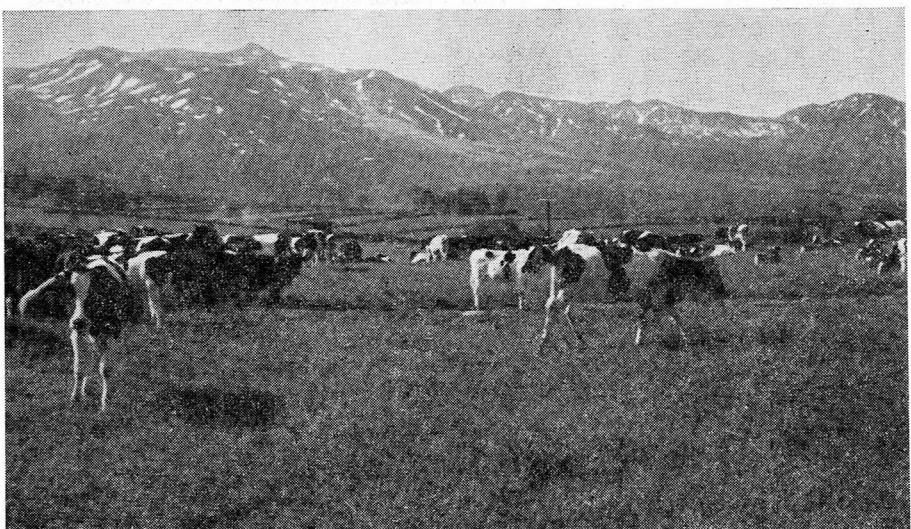
優良乳用牛の団体育成事業を立体とし、

酪農近代化を目的として、一連の機械、自動給餌による作業体系が確立されており、育成事業の効果を高める為、可能な限り省力管理系が具備されている。

a 育成事業、毎年五六六月（五一〇カ月令牛）四五〇頭購買入牧させ二夏一

冬育成し妊娠牛として供給する。  
又五一六月（一一一六カ月令牛）百頭購買入牧させ年度内に妊娠牛として供給。

尚四年度は三〇〇頭の既導入牛に併せ四五〇頭導入し、夏七五〇頭、安定年次の四五年度は夏一、〇〇〇頭、冬四〇〇頭になる。



十勝岳を背景に放牧風景

b 基礎雌牛生産事業  
昭和四三年五月にアメリカ、カナダより優良基礎雌牛、三〇頭輸入、生産雌牛を妊娠牛として、農協を通じ酪農家に払い下げられる。又生産牛乳を経費販売している。

c 研修生の受け入れ  
本年度より長期（三カ月以上）中期（一～三カ月）短期（一ヶ月未満）の研修生を受け入れる。又管

内の農業後継者、系統技術員の研修センターとしての役割りを果たす計画である。

五 主要建物 サイロ（エアー タイトサイロ）  
六基、基礎牛舎、一棟×一  
○四坪 衛生舎 一棟 育成牛舎 ルーズバーン 六  
棟×九七坪 農具庫 一棟 ×五〇坪 事務所 一棟  
一〇〇坪 住宅 四棟×八

戸 乾草収納庫 一棟×五〇坪

六 主要機械 ホイルトラクター 五台

ブロードキヤスター 二台、ウニモク 一  
モーア 二、ヘイコン 一、ワッフル  
一ラーワゴン 四、ブロワー 一、トラン  
ク 一、ジープ 一、雪上車 一、乗用車

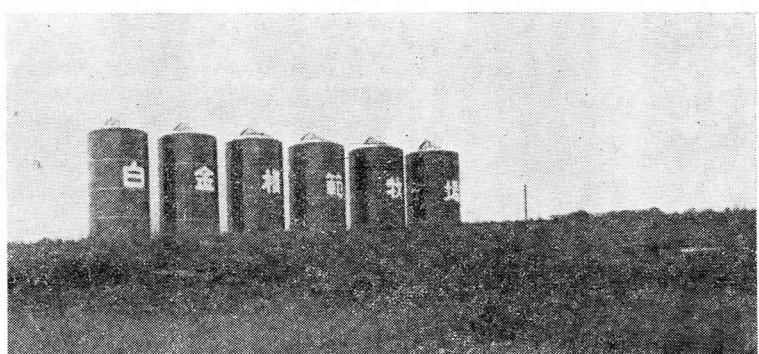
三 七 職員数 一名 四月より一三名

八 一基ニ三〇トント取容する真空サイロ

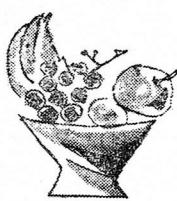
昨年四〇〇頭の育成牛（一〇〇頭年度内販売）と輸入牛三〇頭、利用草地一三八ヘクタールで事業の一部を開始し、実績が出ているが後日譲りたい。

当牧場で代表されるものに、一基ニ三〇トン収容するエアータイツサイロ（真空サイロ）六基があり、水分三五～五〇%は、乾草、サイレージとは全く異った作業体系飼養方式が生れ、ヘイレージ体系は新しい分野として各方面より注目を浴びている。特に一～二日でサイロに詰め込まれる事から晴天日のみを収穫日としている為、雨などにさらす事なく、栄養価ロスが少なくてすむ、又一連の自動給餌の為省力管理に徹している。

アメリカでの真空サイロはすでに二五、〇〇〇基、特に前述のウイスコンシン、ミシガンの集約酪農、イリノイの肥育地帯の中西部の酪農地帯に青いサイロがそびえている。徹底した経営の合理化は省力化によるものでハーベスターと自動給餌装置に代表されている。我が白金牧場もこれらの



長所を学んでその名に相応しい模範牧場として活動してゆく所存であります。



1本230トントのヘイレージを収容出来るハーベスター